



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 山一電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6941 URL <https://www.yamaichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀谷淳一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 松田一弘 TEL 03- 3734- 0115

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,166	46.4	6,667	81.3	7,286	93.7	5,244	76.0
2022年3月期第2四半期	18,562	32.0	3,677	74.0	3,761	84.0	2,979	82.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,854百万円 (127.0%) 2022年3月期第2四半期 3,020百万円 (85.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	250.41	
2022年3月期第2四半期	140.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	51,806	36,436	69.7	1,741.63
2022年3月期	45,372	31,993	69.8	1,499.07

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 36,115百万円 2022年3月期 31,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		81.00	96.00
2023年3月期		35.00			
2023年3月期(予想)				52.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2022年11月4日)公表いたしました「2023年3月期 期末配当予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,750	15.6	8,000	4.5	8,600	1.7	6,000	11.4	287.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は取締役会決議に基づく自己株式の取得を行っており、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月4日)公表いたしました「2023年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	23,329,775 株	2022年3月期	23,329,775 株
2023年3月期2Q	2,593,310 株	2022年3月期	2,193,285 株
2023年3月期2Q	20,944,216 株	2022年3月期2Q	21,282,462 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、各国の経済活動の正常化が進んだことにより経済の持ち直しが見られました。しかしながら、中国でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱に加え、ウクライナ問題の長期化に伴うエネルギー・資源価格の上昇などに起因する世界的なインフレの進行並びに、欧米諸国を中心とした金融政策の方向転換から急激な円安の進行などにより、先行き不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは、世界的な半導体不足に起因する半導体の需要拡大及び、主要市場である欧州産業機器市場での投資回復による需要拡大等により多様化する市場ニーズヘスピーディーに対応を行い、生産体制強化と原価低減及び品質改善を進め、原材料費や輸送費のコストアップ影響を最小限に留めるべく努力を続けてまいりました。

その結果、当社グループは第2四半期累計期間の経営成績として過去最高を更新いたしました。当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高27,166百万円（前年同期比46.4%増）、営業利益6,667百万円（前年同期比81.3%増）、経常利益7,286百万円（前年同期比93.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,244百万円（前年同期比76.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

テスト用ソケット分野では、主軸のスマートフォン向け製品に加え、自動車並びにPC向けの新製品が順調に推移したこと、バーンインソケット分野ではメモリー及び自動車向けロジックの新製品が順調に推移したことにより大きく伸長し、事業全体では好調に推移いたしました。

その結果、売上高15,567百万円（前年同期比62.4%増）、営業利益5,695百万円（前年同期比89.0%増）となりました。

[コネクタソリューション事業]

産業機器向け製品は需要回復により主要市場である欧州を中心に好調に推移したことに加え、通信機器向け製品は米中経済摩擦の影響は続いているものの米国向けを中心に高速大容量伝送法の需要が大きく伸長したことにより好調に推移いたしました。車載機器向け製品は半導体不足の影響による主要顧客での在庫調整及び生産調整の影響を受けましたが回復基調に転じました。

その結果、売上高10,622百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益764百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

[光関連事業]

医療機器向け、産業機器向けの付加価値の高いフィルタ製品等の売上が堅調に推移したことに加え、生産性改善が進んだことにより利益の改善につながりました。

その結果、売上高976百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益135百万円（前年同期比64.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当四半期連結会計期間末における流動資産は35,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,401百万円増加いたしました。これは主に、受注高及び売上高の増加により現金及び預金が2,802百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が1,443百万円増加したこと及び棚卸資産が696百万円増加したことによるものであります。固定資産は16,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,032百万円増加いたしました。

この結果、総資産は51,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,434百万円増加いたしました。

(負債)

当四半期連結会計期間末における流動負債は12,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,954百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が811百万円増加したこと、未払法人税等が616百万円増加したこと及び賞与引当金が566百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は15,370百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,991百万円増加いたしました。

(純資産)

当四半期連結会計期間末における純資産合計は36,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,442百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当1,712百万円及び自己株式の取得697百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が5,244百万円となったこと及び急激な円安により為替換算調整勘定が1,578百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.7%（前連結会計年度末は69.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,801百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金は16,350百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,188百万円（前年同期比56.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,287百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,503百万円（前年同期比30.1%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,478百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,998百万円（前年同期比62.8%増）となりました。これは主に、配当金の支払額1,708百万円及び自己株式の取得による支出697百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、期初の見通し時点から経済環境や市場環境が大きく変化しており、顧客における今後の生産動向や為替動向等に基づき事業を取り巻く環境動向を精査し、下期の計画を見直す必要があると判断したため、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を、2022年8月5日（第1四半期決算公表時）に一旦取り下げ、未定としておりましたが、第2四半期累計期間の実績及び今後の当社グループを取り巻く市場環境の動向を踏まえ修正いたします。

詳細につきましては、本日（2022年11月4日）公表いたしました「2023年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

当社グループは感染拡大防止策として、在宅勤務を可能とする勤務体制や環境等の整備を継続しております。しかしながら、感染症がさらに拡大し長期化した場合には、工場の操業停止、事業活動の自粛等、当社グループの業績及び財務状況にさらなる影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,573,533	16,376,130
受取手形及び売掛金	7,933,832	9,376,914
電子記録債権	547,058	463,164
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	3,288,602	3,550,711
仕掛品	348,994	352,137
原材料及び貯蔵品	2,750,954	3,182,077
その他	1,794,180	2,363,008
貸倒引当金	△19,202	△44,207
流動資産合計	30,227,953	35,629,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,763,159	3,003,787
機械装置及び運搬具(純額)	2,310,764	2,598,387
工具、器具及び備品(純額)	1,777,285	1,880,431
土地	3,419,865	3,427,953
リース資産(純額)	82,284	40,857
使用権資産(純額)	2,741,809	2,775,861
建設仮勘定	506,612	716,000
有形固定資産合計	13,601,782	14,443,280
無形固定資産		
投資その他の資産	244,923	241,620
投資有価証券	57,116	60,355
繰延税金資産	201,863	346,266
退職給付に係る資産	733,178	764,960
その他	305,436	319,987
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,297,594	1,491,568
固定資産合計	15,144,301	16,176,469
資産合計	45,372,254	51,806,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,377,829	2,407,852
短期借入金	2,896,860	3,708,240
リース債務	357,819	328,545
未払法人税等	1,661,054	2,278,031
賞与引当金	1,025,852	1,592,796
役員賞与引当金	—	116,000
その他	2,355,848	2,198,441
流動負債合計	10,675,263	12,629,907
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	2,045,101	2,049,364
役員退職慰労引当金	10,585	11,020
訴訟損失引当金	98,962	103,031
退職給付に係る負債	24,026	40,014
資産除去債務	26,225	27,102
その他	198,725	209,827
固定負債合計	2,703,626	2,740,360
負債合計	13,378,889	15,370,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,084,103	10,084,103
資本剰余金	1,788,562	1,788,562
利益剰余金	22,008,155	25,540,678
自己株式	△2,653,379	△3,351,247
株主資本合計	31,227,440	34,062,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,700	13,901
為替換算調整勘定	499,274	2,078,260
退職給付に係る調整累計額	△53,268	△39,042
その他の包括利益累計額合計	457,705	2,053,119
新株予約権	181,987	179,883
非支配株主持分	126,230	141,039
純資産合計	31,993,364	36,436,139
負債純資産合計	45,372,254	51,806,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,562,377	27,166,808
売上原価	11,351,017	15,868,494
売上総利益	7,211,359	11,298,313
販売費及び一般管理費	3,534,068	4,630,762
営業利益	3,677,291	6,667,551
営業外収益		
受取利息	3,836	8,430
受取配当金	2,934	5,648
為替差益	70,444	675,593
持分法による投資利益	17,550	—
スクラップ売却益	4,189	7,092
助成金収入	5,427	4,328
受取保険金	574	2,443
その他	13,754	19,407
営業外収益合計	118,712	722,945
営業外費用		
支払利息	30,523	45,499
設備移設費用	—	53,270
その他	4,416	5,018
営業外費用合計	34,939	103,788
経常利益	3,761,063	7,286,707
特別利益		
固定資産売却益	122	355
特別利益合計	122	355
特別損失		
固定資産売却損	40	—
特別損失合計	40	—
税金等調整前四半期純利益	3,761,146	7,287,063
法人税、住民税及び事業税	747,170	2,181,272
法人税等調整額	31,955	△148,120
法人税等合計	779,126	2,033,152
四半期純利益	2,982,019	5,253,911
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,415	9,332
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,979,604	5,244,578

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,982,019	5,253,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,100	2,200
為替換算調整勘定	17,017	1,584,462
退職給付に係る調整額	14,734	14,226
持分法適用会社に対する持分相当額	5,323	—
その他の包括利益合計	38,175	1,600,890
四半期包括利益	3,020,195	6,854,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,022,036	6,839,992
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,841	14,809

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,761,146	7,287,063
減価償却費	1,136,523	1,213,148
受取利息及び受取配当金	△6,770	△14,079
支払利息	30,523	45,499
為替差損益(△は益)	△47,962	△922,441
売上債権の増減額(△は増加)	△1,528,567	△496,215
棚卸資産の増減額(△は増加)	△890,708	△152,821
仕入債務の増減額(△は減少)	171,594	△88,477
その他	1,111,046	△32,893
小計	3,736,825	6,838,783
利息及び配当金の受取額	6,424	12,801
利息の支払額	△30,629	△45,296
法人税等の支払額	△395,861	△1,617,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,316,758	5,188,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,132,361	△1,478,184
有形固定資産の売却による収入	1,517	914
その他	△24,637	△26,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,155,480	△1,503,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	657,661
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△230,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△500,044	△697,867
配当金の支払額	△576,769	△1,708,463
その他	△220,743	△240,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,227,557	△1,998,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,901	1,115,858
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	972,621	2,801,542
現金及び現金同等物の期首残高	9,448,653	13,548,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,421,275	16,350,405

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月27日開催の取締役会決議に基づく自己株式400,000株の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が697,867千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,351,247千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,586,993	8,180,995	794,388	18,562,377	—	18,562,377
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	9,586,993	8,180,995	794,388	18,562,377	—	18,562,377
セグメント利益	3,012,794	643,870	82,140	3,738,806	△61,514	3,677,291

(注) 1. セグメント利益の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	15,567,668	10,622,718	976,420	27,166,808	—	27,166,808
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	15,567,668	10,622,718	976,420	27,166,808	—	27,166,808
セグメント利益	5,695,552	764,825	135,337	6,595,714	71,836	6,667,551

(注) 1. セグメント利益の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。